

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

1. 使用状況

寄贈物品名	ミニダンボすべり台
使用学年及び人数	乳幼児クラス、幼稚部幼児 24名
使用頻度	学期期間中ほぼ毎日
使用状況	本校中庭に設置しており、乳幼児クラス1・2歳児が保護者とともに遊んだり、幼稚部幼児が自由あそびの時間や休み時間に遊ぶ遊具として使用しております。
物品の使用による変化や効果	新設前の滑り台は経年劣化による腐食や破損があり、怪我が懸念されておりましたが、現在は安心して使用できるため、幼児が伸び伸びと遊べております。乳幼児クラスの子供も、保護者監督のもと活発に使用しています。外遊びのバリエーションが増え、幼児たちが外で活動する機会が多くなりました。
今後の活用の見通しや課題	引続き、乳幼児から幼稚部の児童の遊び時間に活用していきます。
その他希望や所感など	従前の滑り台に比べ、かわいらしいデザインの滑り台になり、子供たちも遊びたいという気持ちを持ちやすい様子です。腐食などの劣化により、古めかしいものはどうしても避けてしまいがちです。その時代に合ったデザインの遊具を設置することで、児童生徒の外活動を促せると思われます。

2. 活用の様子

① 順番を守る、前の人を押さないなどのルールを学ぶ場にもなっています。



② ぞうさんの上は子供たちの人気のスポットです。

